

# 生まれ変わる鳥羽の教育 vol. 7



(姉妹都市シンボル)

教育委員会学校教育課 ☎ 25 1265

## 英語教育を通したコミュニケーション力の育成

### 異文化を理解しておもてなしのできるまちに

鳥羽市は、1966年にアメリカのサンタバーバラ市と姉妹都市提携を結び、1977年には、政令により「国際観光文化都市」に指定されました。その後、2017年に政令は失効しましたが、市を訪れる外国人観光客は年間10万人を超えており、国際的な観光都市としての魅力あるまちづくり、ひとづくりに今も力を注いでいます。

鳥羽市教育委員会は「英語教育を通したコミュニケーション力の育成」を教育の柱にしました。その目的は、

- ① グローバルに活躍する人材の育成
  - ② 異文化理解とコミュニケーション力の育成
- の2つです。

### 鳥羽の英語教育の取り組み

昨年度から小学校5・6年生の英語が教科化され、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4領域が重視されています。鳥羽市独自の英語教育の取り組みは次の内容です。

#### ○ 英検（日本英語検定協会）の公費受検

英検は、

- ① 昔から馴染みがあり、一生の資格として残る
- ② 級取得という能力に応じた目標を立てやすいというわかりやすさがあります。

鳥羽市の子どもたちは、小学校の英検ジュニアに始まり、中学校1～3年生では、それぞれの能力に合わせて英検5級から2級までを選択し、年に1回、無料で受検できます。

これにより、学校体制で英検の勉強に取り組み、自校を会場とした受検ができるようになりました。

#### ○ ALT（英語助手）の全校配置

英語を母国語とする外国人を3人配置し、各学校に派遣しています。市内の幼稚園、小学校、中学校には、必ず週に1回はALTがやって来て、授業だけでなく遊びや、給食などの時間も一緒に過ごすようにしています。異文化を学ぶ絶好の機会です。

#### ○ イングリッシュ・デーの実施

年に1度、各小学校に7、8人のALTを派遣し、ほぼ1日中、英語だけで過ごす日を設けました。

昨年度からは鳥羽ロータリークラブさんに協賛していただいております。今年度は12月24日（金）に鳥羽小学校の6年生が実施予定です。英語でゲームやプレゼンをするなど、苦労しながらも楽しい1日になります。

このような取り組みを通して、英語を鳥羽教育の目玉にし、全国でもトップレベルの英語教育を展開しようとしています。

(教育長 小竹 篤)



第8回

## 鳥羽の海女バル&ハロウィンナイト



海女バル実行委員会（鳥羽商工会議所内） ☎ 25 8780

とき 11月19日(金)、20日(土)

※時間は各店舗のバル営業時間によります。

ところ 市内加盟店



バルチケットを使用して、市内の飲食店で飲み歩きと食べ歩きができるバルイベントを開催します。

チケット1枚で各加盟店舗が提供するサービス（ワンドリンクとワンフード、テイクアウト商品、入浴のいずれかひとつ）を楽しめます。

チケットは5枚つづりで限定1,000冊、前売券（11月18日（木）まで）が3,000円、当日券（11月19日（金）、20日（土））を3,500円で販売します。

#### その他

・本部は、11月19日（金）は手づくり工房きらり付近、11月20日（土）はてんすうくん会館内に設置します。（午後4時～9時）

・午後6時30分～7時までの間に仮装をしてハロウィンゲート（本部付近に設置）を通過したかたにはバルチケット1枚（中学生以下はお菓子）をプレゼントします。

・インスタグラムでコスプレコンテストを開催し、優勝者には後日商品券を進呈します。

・牡蠣<sup>かき</sup>ばん酢がもらえるシールラリーも開催します。

くわしくは、鳥羽商工会議所ホームページをご覧ください。

